

# 【小学校合気道体験学習】

合気道神武錬成塾の指導員である鈴木康弘先生は、仙台市立六郷小学校の教師をしておられます。その関係もあり、日本の伝統文化を学ぶ体験授業に「合気道」が選ばれ、七月十四日に行ってまいりました。三クラス別々にそれぞれ一時限の授業時間に体験をしてもらいました。

下は河北新報に掲載されたものです。  
また子どもさんの体験記も載せました。



スポーツパークみやぎ

## 迫力の合気道を体験

仙台・六郷小 日本の伝統文化を学ぶ

日本の伝統文化を学ぶ体験授業が7月14日、仙台市若林区の六郷小6年生を対象に行われました。私たち「神武錬成塾」の4人は、合気道を教えました。合気道のほかに生け花、茶道、書道がありました。

子どもたちは合気道という言葉を聞いていますが、ほとんどの子は実技を見たことがありません。どんなことをするのか、体験授業をとても楽しみにしていたようです。

神武錬成塾の白川勝敏塾長が合気道の成り立ちや、合気道がなぜ日本の伝統文化であるのかを分かりやすく説明。昨今の物騒な世情から、少しでも護身術として役に立つように指導することも話しました。

塾長が大きな人を投げたり、押さえたりする演武をしてみせると、その迫力と鮮やかさに子どもたちは圧倒されたようで見っていました。

実技体験では、手を強くつかまれた時に手を離させる技「手ほどき」と、手首をきめる「小手返し」を指導しました。最初は強く持たれるとなかなか手をほどくことができなかったのですが、要領を覚えるとほとんどの人が上手にできていました。さすが6年生だけあって理解が早かったです。

最後に、質問コーナーを設け45分の授業は終了しました。終了後、子どもたちに感想を聞くことになった。「役に立ちそう」「話を聞いていました。」など話していました。

白川塾長は「授業で伝統文化に触れ、日本に素晴らしい文化があることを少しでも感じてもらえたら幸いです。授業の感触を述べていました。私たちは合計3クラスを指導し、全部で115人の子どもたちが合気道を体験しました。(仙台市・白川 竜次)

---

### 合気道の感想 6年1組 男子

僕は合気道をやると聞いて、あまり体を動かしたくないなーと内心思いました。だけど、合気道の先生が自分より背の高い人を投げているところを見ると面白そうだな。とやる気がわいてきました。不審者から逃げる訓練をしましたが、友達は強くつかんでいるはずなのにスルッとぬけてあれっと思いました。次に腕をひねる訓練でしたが、思った以上に痛かったのでびっくりしました。でもその時のびっくりよりも合気道の先生が友達の大輝君を投げたということのほうがびっくりしました。投げられた大輝君は痛かったのかなーと思いました。小手返しという技は普通じゃないと思います。ですが、二つの技を教えてもらった時、教え方がすごく丁寧でわかりやすかったから技を成功させられたんだと思います。教えていただきありがとうございました。



---

### 合気道の感想 6年1組 女子

私は合気道の体験をしたのは初めてでした。合気道をやっているのを私は見たことがありませんでした。最初に先生方がやっているのを見てカッコよかったです。

合気道の体験で覚えた事があります。それは、手をひねられた時にしゃがむ・受け身をとる事です。それによって痛かった手が痛くなくなるのです。あと塾長先生に言われたのは、返事です。私はうなづくことしかできませんでした。しかし、言われたとおり



返事をした

ら楽しくなってきました。あと塾長先生のいい所は、1つ1つ丁寧におしえてくれる事です。もっともっと合気道をやりたいかったです。私がもっと知りたい事は他にどんな技があるかを知りたいです。教えてくれて本当にありがとうございました。また合気道を体験したいです。



### 合気道の感想 6年2組 女子

私は合気道という言葉もあまり聞いたことがなくてどういうものなんだろうと思い初めて体験しました。それで先生が合気道の説明をいろいろしてくれたので合気道は戦うのではなく自分を守るためにやるものだということがわかりました。それから、手のはらいや構えなども覚えました。合気道のことをいろいろ教えてくれてありがとうございました、



### 合気道の体験 6年2組 男子

合気道を体験してみて礼儀正しく返事を返すという事を学びました。返事を返さなければ聞いている方はわからないという事が改めて分かりました。

『背筋を伸ばせ』と言われた時は、すごく迫力があり厳しく言っていました。先生に教えてもらった、手をつかまれた時にぬける方法などすごく為になりました。白川先生、阿部先生ありがとうございました。

仙台市立松陵西小学校でも、六月十八日、「5学年行事」において護身術を兼ねての「合気道」体験を行いました。泉教室に2人の子供さんが通っている加賀さんがPTAの役員をしている関係での開催でした。

この時は、2クラス（58名）の子供達とのお母さん方が一緒に一時間半の体験を行いました。

親子で体験ですから、一度に100名を越えるというので、塾長の補佐として、門馬指導員、竜次指導員、佐川晴美子供の部指導助手がお手伝いをいたしました。

限られた時間ですから多くのことは出来ません。手ほだき、小手返しなどごくごく基本のことを、塾長が身振り手振りでユーモラスに説明を加え、実





際に相手を投げたり、押さえたり。比較的小柄な塾長が大きな人を相手に華麗に投げるわけですから、子供たちが喜ばないはずはありません。普段の授業よりも真剣に一所懸命学んでいました。

ところどころで、危ない所には近づかない。万が一危険な目に会った時は思い切って大声を出す。大きな声で返事をする事の大切さ、姿勢、挨拶・正座の方法、日本の伝統文化、またきびきび動くことなど、塾長が普段「合気道神武錬成塾の子供の部」で指導していることを自然とさりげなく説明をされていき、あっという間に体験が終わってしまいました。

子供さんたちにも、保護者の方にも大変好評で、ぜひ合気道を定期的に習いたいと、その後何名か実際に泉教室に来られ入塾した人もいました

子供さんたちにも、保護者の方にも大変好評で、ぜひ合気道を定期的に習いたいと、その後何名か実際に泉教室に来られ入塾した人もいました

